暮らし、社会、未来のために。
ウッドワンの環境への取り組み。

木を活かしたものづくりを通じて、森林を保全し、自然環境を守る。

こうしたウッドワンの企業活動を支えているのが徹底された森林経営です。

人に優しく高品質な商品をお届けするには、

木を育て、正しく管理し、安全・安心な加工・流通など

きめ細やかな経営体制を確立しなくてはなりません。

健全な森林経営を営むことで、暮らしを豊かにし、

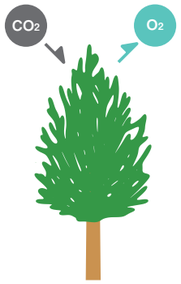
地域社会に信頼をもたらし、未来へ美しい自然を残していく。

それこそが、ウッドワンがめざすべき環境への取り組みだと考えています。

森林と地球環境

健全な森林整備が、重要な温暖化対策になります。

地球温暖化の最も大きな原因は二酸化炭素です。植物は光合成によって大気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を放出します。森林で樹木に吸収された二酸化炭素は、大気中に放出されるまで、炭素として木材中に固定されています。しかし、木が若いうちは生長が盛んで炭素固定速度と貯蔵量は年ごとに増加しますが、ある樹齢になると生長量が衰えるため炭素固定速度が低下し、木が成熟すると炭素貯蔵量もほぼ一定となってしまいます。そのため、循環型の持続的な林業経営を行い、再生産可能な木材・木質資源を有効に活用することは、重要な温暖化対策として地球環境を守ることにつながり、これがウッドワンの理想とする姿なのです。

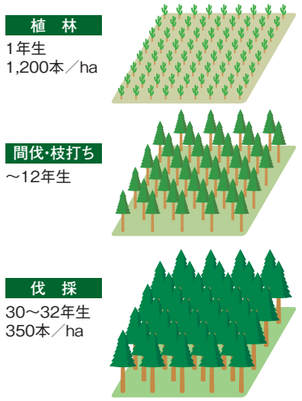


炭素固定

法正林施業

森林資源を保護しながら、木材を永続的に収穫できます。

法正林施業とは、森林の年間生長量分だけ毎年伐採を行い、持続可能な森林経営を行うことです。例えば30年伐期の場合、森を30区画に分け、1年生から30年生までそれぞれの樹齢の木を同じ面積ずつ育て、30年生になった区画を伐採し、その区画に再び植林します。このようにすることで、森林資源を保護しながら、毎年ほぼ同じくらいの木材を永続的に収穫することができます。



森林育成管理
森の育成から原材料の出荷まで一貫した森林経営体制を確立。

製品へ
充実した幅広い商品ラインアップを展開。